

## 体外受精の自費診療費用（2022年4月改訂）税込

体外受精保険適用に付随して、自費診療の費用も変更いたします

	刺激周期	自然周期
採卵(麻酔は別途)	110000円	55000円
精子調整・受精・タイムラプス培養 (顕微授精加算:個数に関わらず)	132000円 (55000円)	132000円 (55000円)
・・受精卵作成までの合計・・	242000円 (297000円)	187000円 (242000円)
新鮮胚移植	110000円	55000円
・・新鮮胚移植までの合計・・	352000円 (407000円)	242000円 (297000円)

(税込)

※「自然周期」とは、排卵誘発注射を一切使用しない周期（内服のみは可）です。

<その他自費>	費用	備考
排卵誘発剤(回数により差異あり)	約30000~100000円	中刺激の場合で約5~60000円
ホルモン検査・超音波検査	約20000~30000円	ホルモン 7700円 超音波 3300円
採卵時麻酔(希望者のみ)	局所麻酔 22000円	静脈麻酔 55000円

(税込)

胚盤胞培養	55000円	タイムラプス培養加算含む
余剰胚凍結(初年度)	33000円 /1本あたり	2年目以降の延長は55000円
AHA(アシストハッチング)	22000円	移植時に受精卵透明帯を菲薄化
embryo-GLUE	11000円	移植時に使用するヒアルロン酸培養液
着床前遺伝学的検査(PGTA)	110000円 /1胚あたり	受精卵の染色体異常の有無を検査
融解胚移植	132000円	融解費用(22000円/1胚)含む

(税込)

【例1】 刺激周期で7個採卵し媒精で受精、胚盤胞培養で凍結2個の場合 : 約430000円

【例2】 刺激周期で10個採卵し顕微授精実施、胚盤胞培養で凍結3個の場合 : 約520000円